

鳥取 YEG 通信

TOTTORI
 YOUNG
 ENTREPRENEURS
 GROUP

発行：令和4年11月15日
 鳥取商工会議所青年部
 広報委員会

鳥取商工会議所青年部通信

11



令和4年度
会長あいさつ

鳥取商工会議所青年部
 会長 **平田 祐輔**
 有限会社 ヒラタ塗装
 工芸社

■ 令和4年度
 枝に一つ残された柿の実が、過ぎゆく秋の風情を醸しだしています。

皆様におかれましてはお健やかに過ごしのこととお慶び申し上げます。秋は四季の中でも多くのイベントが開催される時期かと思っております。引き続きコロナ禍が続いている中ではありますが「3年ぶりの開催」「従来の規模に戻す」「開催」など、コロナ禍に立ち向かうべく力強い言葉を使ったイベントタイトルの多くを目にします。

多くのイベントにおいて、コロナ禍前の賑わいと同じかといえはそうでは無いものの、従来の形式に少しでも近づける努力が感じられる内容になってきており、難しい運営の中でも各所の賑わいを創出していただいております。

制限されていたものが徐々に解除され、新たな形での生活様式が確立されているように感じています。我々青年部においてもその一翼を担い豊かで住みよい郷土づくりに貢献していきたいと思っております。

そんな中、9月23日(金)24日(土)に「第23回鳥取32万石お城まつり」が開催され、我々も23日のスタンブラーレース、24日は奴隊を結成し時代行列に参加いたしました。また、今年も昨年と同様に仮設三階櫓

も設置させていただき、多くの来場者の皆さまが楽しく過ごされている光景を見る事ができました。今後も鳥取城跡周辺に賑わいが出来るよう活動を行っていきたくと思っております。

そして10月3日(月)にはビジネス委員会主催による「資産運用について」をテーマとしたオープン委員会が開催されました。参加メンバーに、新たな気づき、学びに繋がっていただけるとも内容の濃いオープン委員会となりました。引き続き青年部メンバーにとりより良い情報提供が出来るようオープン委員会も開催していきたいと思っております。

さて、今年度は鳥取商工会議所青年部連合会が創立30周年を迎えました。10月8日(土)には「とりぎん文化会館」にて過去5年間の歴代会長に列席いただき、30周年記念式典を開催いたしました。米子YEG、倉吉YEG、鳥取YEG、三単会でも鳥取県の発展の為に、引き続きあり活動を行っていきたくと思っております。これまで県連活動にご理解、ご尽力くださいました皆様本当にありがとうございます。

そして10月9日(日)には「トリパラ2022」と題し、鳥取ユニバーサルスポーツセンター「ノバリア」にて鳥取イスマ委員会主催による「パラスポーツ体験事業」が開催されました。ポッチャ・モルック・車いすバスケットを、参加された皆様に楽しみな体験していただきました。パラスポーツを知る事ができる良い事業内容だったのでないかと感じました。今後もいろいろな活動を通して街の元気を創出していきけるよう努めてまいります。引き続きご理解ご協力のほどよろしくお願い致します。

鳥取商工会議所青年部連合会 創立30周年記念大会・記念式典開催

10月8日(土)とりぎん文化会館第一会議室において、鳥取商工会議所青年部連合会30周年記念大会・記念式典が開催されました。

鳥取YEG主幹にて行われた今回の記念大会には、リモート参加も含め多くの鳥取・倉吉・米子YEGのメンバーが出席しました。また30年という歴史を守り、現在まで鳥取県連をけん引してくださった先輩に感謝を伝えるべく、平成29年度から過去5年間の県連会長の皆様にもお越しいただき感謝状と記念品を贈呈いたしました。しゃんしゃん傘踊りの百花繚乱の皆さんも駆けつけてくださり、30周年のお祝いに華やかな踊りを披露してくださいました。

今回は、コロナウイルス感染症拡大防止のため短時間の式典のみという形でしたが、各単会の活動を知り、交流が図れる機会である県連事業は青年部活動の大切な行事の一つです。鳥取県を盛り上げるため、今後も積極的な交流を図っていきたくと考えています。

総務委員会 副委員長 田村 康悦



感謝状・記念品の贈呈



集合写真

第23回鳥取32万石お城まつり 鳥取城跡活用にぎわいミーティング

9月23日(金)・24日(土)に鳥取32万石お城まつりが3年振りに通常開催されました。1日目はYEGブースとして「お城クイズ&謎解き&スタンブラー」を開催し、約2000名の参加者に鳥取城跡の各スポット巡りながら難問に挑戦してもらいました。

2日目は、時代行列を率いる先導隊として奴隊を担当しました。鳥取商工会議所をスタートし、きなんせ広場、駅前バードハット、久松公園のルートで毛槍を高く突き上げながら練り歩き、各所で奴踊りを披露し多くの拍手喝采をいただきました。また、昨年に引き続き2032年三階櫓復元着工を目指し、二の丸三階櫓跡に仮設三階櫓を設置し来場者へPRしました。翌週10月1日は、昨年度まち興し委員会が作成した提言書をもとに「鳥取城跡活用にぎわいミーティング」が仁風閣で開催されました。富田委員長の提言書概要説明後、井上副会長をはじめとする鳥取城に関わる8名の識者が鳥取城跡への熱い思いを語り、市民全体で鳥取城跡に取り組んでいけるよう連携していくことを確認しました。

今後鳥取城跡が地域の誇りとなることを目指し、過去と未来を結ぶ架け橋になれるよう活動していきたいと思っております。



青年部奴隊による奴踊り



仮設三階櫓

トリパラ2022事業開催

10月9日(日)、ヤマタスポーツパーク内ノバリアにて「トリパラ2022」を開催いたしました。「トリパラ2022」はモルック、ポッチャ、車いすバスケットなどパラスポーツの体験会となります。パラスポーツを知ることにより、障がい者の方と健常者の方とのよりよい共生社会を構築するきっかけとなればと思いを込め、「トリパラ2022」を開催いたしました。参加された方々は初めて目にする、手にする方が多く、最初はルールなど覚えることが大変そうでしたが、しばらくすると楽しそうに体験をしていました。

子供たちが、何度も何度もやりたいと、お父さんお母さんにおねだりしていた姿が印象的で開催した意義があったと思えました。鳥取YEGはスポーツを通じて社会問題などの解決の一翼を担えると考え、これからも活動を行っていきたくと思っております。参加していただいた皆様、本当にありがとうございます。

鳥取イスマ委員会
 委員長 富田 光政



車いすバスケットの様子



モルックの様子

ビジネス委員会 オープン委員会 『お金の味』

ビジネス委員会では、鳥取YEGとしても、久々のオープン委員会を開催致しました。

テーマは「お金の味」。コロナ禍、インフレ、円安等々、昨今の日本経済を取り巻く環境は急激に変化しており、私たちの生活も目に見えて、今までの普通が普通でなくなっていることがわかります。そこで今回は三名の講師の方(加藤寛監事、尾田政和委員、濱本浩二副会長)に登壇頂き、金融に関する知識、情報を提供して頂きました。皆さん目からうろこの話も多く、多くの方がメモを取りながら、聞いて頂いていたのが印象的でした。今回は金融に関するテーマで開催しましたが、今後も様々なテーマでオープン委員会を開催し、会員の方々が気軽に集まれる場を作り、交流を増やしていきたいと考えています。

ビジネス委員会
 委員長 西川 朋宏



三名の講師による講演



参加したYEG会員